学校番号	3019

令和８年度　福祉科

教科	福祉	科目	介護総合演習	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	なし						
副教材等	実習ガイダンスワークシート（自主教材）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

介護を必要とする人の自立した生活を支援するための安心・安全な介護技術を学び、施設実習やボランティア活動を通じて実践力を高めていきます。１年生では、介護が必要な人の気持ちになって介護技術の基本について考え、介護福祉士として必要な職業観の基礎を育みます。

①デイサービスセンターやデイケアなどの社会福祉施設での実習に向けて、興味や関心を持って授業に取り組み、グループワークや発表など、積極的に参加しましょう。

②国家資格である介護福祉士の受験資格を取得するために必要な科目です。

2　学習の到達目標

福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の創造と発展に必要な資質･能力を次のとおり育成することを目標とします。

【知識および技術】

地域福祉や福祉社会について体系的・系統的に知識を理解するとともに、関連する技術を身に付けます。

【思考力、判断力、表現力等】

地域福祉や福祉社会に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ解決策を探求し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養います。

【学びに向かう力、人間性等】

健全で持続的な社会の構築をめざして自ら学び、地域福祉や福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養います。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地域福祉や福祉社会について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	地域福祉や福祉社会に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。	健全で持続的な社会の構築をめざして自ら学び、地域福祉や福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	Ⅰ 7月実習に向けて	Ⅰ 7月実習に向けて 1 ガイダンス～3年間の福祉ボランティア科の学習内容～	c: 福祉ボランティア科の学習内容に興味や関心をもち、入学時における自らの将来の夢に応じた目標を主体的に立てている。			ワークシート 観察
		2 介護現場における個人情報	a:介護現場における個人情報とプライバシーについて基本的な知識を理解している。 b:介護現場における個人情報とプライバシーの保護について、当事者や介護従事者の立場から考察し、表現することができる。 c:介護サービス利用者の個人情報やプライバシーに関して主体的に保護できる態度を身に付けている。	定期考査	ワークシート	提出ノート 観察
		3 介護保険制度のしくみ ①介護保険制度とは ②居宅サービスの種類 ③施設サービスの種類	a: 介護を必要とする高齢者を支える介護保険制度について、基本的な仕組みを理解している。 c:介護保険制度について、興味や関心を持ち、主体的に活用できる態度を身に付けている。	定期考査 確認テスト		提出ノート 観察
		4 介護現場の実際 ①介護従事者の業務 ②感染症対策	a:介護現場における介護従事者の業務や感染対策について基本的な知識を理解している。 b:介護現場の介護従事者を考察し、利用者の方と関わりの際に必要な自らの考えを表現することができる。 c:介護実習にむけた興味や関心を持ち、学習した内容を活かして取り組む態度を身に付けている。	定期考査	定期考査 ワークシート	提出ノート 観察 ワークシート
		6 介護現場における記録および実習日誌の書き方	a:介護現場における記録の重要性と実習日誌の記入の仕方を理解している。	定期考査		

		7 デイサービス・デイケア実習（7月）とは（意義と役割） 8 実習ガイダンスに向けて 9 実習の諸注意・実習目標	a:デイサービス・デイケア実習の意義と役割を理解している。 b:７月の実習に向けて、自らが学習したい内容と関連付けて、実習目標を考えることができる。 c:７月の実習に向けて、主体的に実習目標を立てることができる。	定期考査	実習自己分析シート	実習自己分析シート
2学期	Ⅱ 7月施設実習について	Ⅱ 7月施設実習について 1 実習報告資料の作成 2 施設実習発表会	b:資料を作成する過程や発表会を通じて、７月の実習の経験を考察するとともに言語化し、表現することができる。 c:グループ活動を通じて主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。		実習報告資料作成 発表	実習自己分析シート 観察
	Ⅲ 11.月施設実習に向けて	Ⅲ 11月施設実習に向けて 1 介護保険制度のしくみ ①福祉用具貸与・購入、住宅改修 ②償還払い ②地域密着型サービス	a: 介護保険制度の福祉用具や住宅改修および地域密着型サービスについて基本的な知識を理解している。 b:利用者の方の心身状況や生活状況に応じた介護サービスにおける住宅改修について、考察し、表現することができる。 c:介護保険制度について、興味や関心を持ち、主体的に活用できる態度を身に付けている。	定期考査 確認テスト	定期考査	提出ノート 観察
		2 利用者とのコミュニケーションの図り方	a:利用者の方とのよりよいコミュニケーションについて基本的な知識を理解している。 b:７月の実習の経験を活かして、利用者の方に応じた話題を考察することができる。 c:利用者の方に楽しんでいただくコミュニケーションについて、創意工夫し、実践しようとしている。	定期考査	実習自己分析シート	実習自己分析シート
		3 実習日誌の書き方	a:実習で体験、経験した内容を具体的に表現するための「５Ｗ１Ｈ」を理解している。	定期考査		

		4　デイサービス･デイケア実習(11月)とは 5　実習ガイダンスに向けて 6　実習の諸注意･実習目標	b:７月の実習の経験を活かして、自らが学習したい内容と関連付けて、実習目標を考えることができる。 c:１１月の実習に向けて、主体的に実習目標を立てることができる。		実習自己分析シート	実習自己分析シート
3学期	Ⅳ 11.月施設実習について	Ⅳ　11月施設実習について 1　11月施設実習　ピアスーパービジョンを活用した振り返り 2　施設実習発表会	b:ピアスーパービジョンや発表会を通じて、１１月の実習の経験を考察するともに言語化し、表現することができる。 c:グループ活動を通じて主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。		発表シート作成 発表	実習自己分析シート 観察
	Ⅴ 淀翔モールの取り組み	Ⅴ　淀翔モールの取り組み 1　福祉施設のあり方 2　地域福祉との繋がり 3　福祉･医療分野の従事者として大切なこと	a:講演会やワークショップ等の探究活動を通じて、先進的な福祉･医療の分野の取り組みを理解することができる。 b:７･１１月の実習の経験と淀翔モールの取り組みをふまえて、福祉･医療分野の従事者として大切な心構えや価値観などを考察するとともに、言語化して表現することができる。 c:講演会やワークショップ等の探究活動に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	チェックシート	ワークシート	ワークシート
	Ⅵ 2年次の学びにむけて	3　介護保険制度のしくみ ①地域包括支援センター ②地域包括ケアシステム	a:地域で生活する高齢者の福祉に関する相談窓口や地域包括ケアについて理解している。 c:介護保険制度について、興味や関心を持ち、主体的に活用できる態度を身に付けている。	定期考査 確認テスト		提出ノート 観察
		4　1年間の振り返り	b:７月と１１月の実習を通してできた点やできなかった点を考察することができる。 c:７月と１１月の実習の一連の活動を振り返って、2年生の目標を立てることができる。		実習自己分析シート	実習自己分析シート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度